

第5学年 おおたの未来づくり 学習指導案

対 象 第5学年1組 児童 24名

指導者 稲葉 美知

対 象 第5学年2組 児童 22名

指導者 松原 夢羽

1 単元名 羽田の魅力再発見「羽田発新和菓子を作ろう」～和菓子の魅力を伝えよう～

2 単元の目標

羽田の町で古くから和菓子屋を営まれている方々から、誇りをもって和菓子を販売されていることを学び、自分たちでできることを考え、発信する。その上で、和菓子のよさを伝えるオリジナル和菓子を試行錯誤しながら開発する活動を通して、自分や他者のよさを生かしながら、社会づくりに向けて進んで行動しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①和菓子屋を営まれている方々の思いを意識し、学習の見通しを立てるための知識及び技能を身に付けている。 ②情報収集のための知識及び技能を身に付けている。 ③考えた和菓子や羽田の和菓子屋のよさを発信するために、必要な知識・技能を身に付けている。 ④ICTを活用した情報収集、スライド作成、動画編集、調査、統計資料の分析や作成に関する知識及び技能を身に付けている。	①和菓子の魅力を伝えるために、必要な情報を判断し、整理・分析している。 ②理由を明確にして、自分の考えをまとめている。 ③自分の考えを正しく伝えるために、適切な表現方法を選んでいる。	①オリジナル和菓子を開発するために、協働しながら、粘り強く学習をやり抜こうとしている。 ②開発した商品の魅力を発信するために、協働しながら学習に粘り強く取り組んでいる。 ③町の活性化のために、自分ができることを考えようとしている。

4 単元指導計画

	次	時	学習活動	知・技	思・判・表	態
コンセプト (8時間)	1	1	授業パートナー（和菓子屋を営んでいる方々）と出会う			① 観察 スプレッドシート
		2 3	授業パートナーから提示された課題を整理して、できることを考える。	① スプレッドシート		① 観察 スプレッドシート
	2	4 5 6 7 8	和菓子について調べたり、インタビューや、市場調査をしたりする。	①② スプレッドシート フォーム	① スプレッドシート フォーム	① 観察 スプレッドシート フォーム

デザイン(12時間)	3	9 10	調査したことをもとに、商品を考え、授業パートナーに提案する。	③ スプレッドシート ドキュメント	② スプレッドシート ドキュメント	② 観察 スプレッドシート ドキュメント
	4	11 12	地域のお祭りで和菓子屋のよさを広める方法を考える。	① スプレッドシート		① 観察 スプレッドシート
		13 14	授業パートナーにプレゼンテーションするための資料を作成する。	④ スライド 動画 フォーム	③ スライド 動画 フォーム	③ 観察 スプレッドシート
		15 16	プレゼンテーションの練習をする。		③ スライド 動画 フォーム	③ 観察 スプレッドシート
		17 18	プレゼンテーションを行う。		③ スライド 動画 フォーム	③ 観察 スプレッドシート
		19 20	授業パートナーのアドバイスを受けて案を改善し、内容を精選、作成をする。	④ スライド 動画 フォーム	③ スライド 動画 フォーム	③ スライド 動画 フォーム
	地域のお祭りで自分たちが考えた和菓子を売る。					
クリエイション(15時間)	5	21 本時 22	4年生に行う「おおたの未来づくり」の成果とまとめの発表の資料を作成する。	④ スライド 動画 フォーム		③ 観察 スプレッドシート
		23 24	学年で中間発表をする。	①② スプレッドシート フォーム		
		25 26	中間発表を受け、4年生に行う「おおたの未来づくり」の成果とまとめの発表の資料を精選する。	④ スライド 動画 フォーム	③ スライド 動画 フォーム	③ 観察 スプレッドシート
		27 28	4年生に行う「おおたの未来づくり」の成果とまとめの発表練習をする。			
	6	29 30	4年生におおたの未来づくり」の成果とまとめの発表をする。		③ スライド 動画 フォーム	③ 観察 スプレッドシート
		31 32	授業パートナーに「おおたの未来づくり」の成果とまとめ発表をする練習をする。		③ スライド 動画 フォーム	③ 観察 スプレッドシート
		33 34	保護者・地域に広める広報の仕方を考え発信する。			③ 観察 スプレッドシート
		35	学習の振り返りをする。			③ スプレッドシート

5 本時のねらい（第21/35時）

「おおたの未来づくり」をテーマに、企画した内容について4年生と授業パートナーに向けて発表する成果とまとめの資料を、ICTツールを効果的に活用して作成することができる。

6 本児の展開（1組）

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてと流れを確認する。	○前時までの取り組みをスライドで振り返り、本時の学習のめあてについて考えることができるようにする。 【Think】
成果とまとめの発表資料を作成しよう！		
展開	2 発表する内容を精選する。 ・授業パートナーさんの思いを入れよう。 ・アンケートを取ったり統計資料を作成したりすることが商品開発に役立つことをのせよう。 ・自分たちの経験を今後どんなことに生かしていけるか考えよう。 3 4年生に発表するための方法を考え、資料を作成する。 ・見やすいように今まで作成した資料や写真をのせよう。 ・写真をのせると分かりやすいね。 ・紹介する順番も考えよう。	○和菓子の知識やリサーチ内容、調査した内容を十分に振り返り、発表に盛り込む内容を整理できるように、ワークを用意する。【Share】 ★ ICTを活用した情報収集、スライド作成、動画編集、調査、統計資料の分析や作成に関する知識及び技能を身に付けている。（スライド） ○児童が共同編集しながら資料を作成し、リアルタイムで意見を出し合い、効率的に資料作成ができるように、各グループ内で作業の分担方法を示す。 【Think】【Share】 ○ICTだけでなく実物も効果的に活用することを示すことで、細かい作成行程等を説明できるようにする。 【Select】
まとめ	4 学習の振り返りをする。	○めあての達成度を選択したり、本時の学習を振り返り、次時の学習につなげたりするために、振り返りの視点を示す。 【Think】

TSSに関する手立て

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫
前時までに蓄積してきたデータや進捗状況を確認し、本時のめあてをもつ。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫
スプレッドシートで他のグループの進捗状況を確認できるようにしたり、資料の作成の方法をリアルタイムで見ても参考にできるようにしたりする。各自の判断で直接話を聞きに行くことができるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫
スプレッドシートや写真として保存しておいた資料を活用して、発表資料を作成する。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫
スライド、ドキュメントを活用し、共同編集ができるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫
発表の際の資料の提示の仕方（実物、紙ベース、データベース）で示し、自分たちに合った方法で考え、表すことができるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫
スプレッドシートにてめあての達成度を選択したり、本時の学習の振り返りをしたりして次時の学習に生かす。

5 本時のねらい（第21/35時）

「おおたの未来づくり」をテーマに、企画した内容について4年生と授業パートナーに向けて発表する成果とまとめの資料を、ICTツールを効果的に活用して作成することができる。

6 本児の展開（2組）

	学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ★評価
導入	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてと流れを確認する。	○前時までの進捗状況を前時までの取り組みをスライドで振り返り、確認し、本時のめあてをきめる。【Think】
	成果とまとめの発表資料を作成しよう！	
展開	2 発表する内容を精選する。 ・味や見た目、思いなどこだわった部分が伝わるようにしよう。 ・アンケートを取ったり統計資料を作成したりすることが商品開発に役立つとのせよう。 ・自分たちの経験を今後どんなことに活かしていけると思ったかも伝えよう。 3 4年生に発表するための方法を考え資料を作成する。 ・見やすいように今まで作成した資料や写真をのせよう。写真をのせると分りやすいね。 ・紹介する順番や発表の速さなども考えよう。 ・写真を多く見てもらいたいからスライドにしよう。 ・和菓子の紹介カードは実物を用意しよう。	○和菓子の知識やリサーチ内容、調査した内容を十分に振り返り、発表に盛り込む内容を整理できるように、ワークを用意する。【Share】 ★ ICTを活用した情報収集、スライド作成、動画編集、調査、統計資料の分析や作成に関する知識及び技能を身に付けている。（スライド） ○児童が共同編集しながら資料を作成し、リアルタイムで意見を出し合い、効率的に資料作成ができるように、各グループ内での作業の分担方法を示す。【Think】【Share】 ○ICTだけでなく実物も効果的に活用することを示すことで、細かい作成行程等を説明できるようにする。【Select】
まとめ	4 学習の振り返りをする。	○めあての達成度を選択したり、本時の学習を振り返り、次時の学習につなげたりするために、振り返りの視点を示す。【Think】

TSS に関する手立て

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫
前時までに蓄積してきたデータや進捗状況を確認し、本時のめあてをもつ。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫
スプレッドシートで他のグループの進捗状況を確認できるようにしたり、資料の作成の方法をリアルタイムで見て参考にできるようにしたりする。各自の判断で直接話を聞きに行くことができるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫
スプレッドシートや写真として保存しておいた資料を活用して、発表資料を作成する。

【Share】自分に合った方法で共有するための工夫
スライド、ドキュメントを活用し、共同編集ができるようにする。

【Select】自分に合った表現の仕方を選択するための工夫
発表の際の資料の提示の仕方（実物、紙ベース、データベース）で示し、自分たちに合った方法で考え、表すことができるようにする。

【Think】自分に合った方法で考え、表現するための工夫
スプレッドシートでめあての達成度を選択したり、本時の学習の振り返りをしたりして次時の学習に生かす。